

```
<!DOCTYPE HTML>
```

```
<html lang="ja">
```

```
<head>
```

```
<meta charset="utf-8">
```

```
<meta name="viewport" content="width=device-width">
```

```
<title>レスポンシブデザイン /sample_01</title>
```

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/styles.css" media="all" />
```

```
</head>
```

```
<body>
```

```
<!-- header -->
```

viewport でデバイスの横幅を指定する

Viewport

「デバイスの横幅で描画」

width=device-width

デバイスごとにスタイルシートを割り振る。

Media Queries

※IE8 以下では、Media Queries は使えません

img 要素の余計な余白 (ディセンダー) のリセット

font-size

ディセンダー (descender)

good design

baseline

bottom

middle が指定された場合、
baseline よりも x-height の高さの半分だけ上の位置に、
画像の中央位置が揃えられます。

good design

baseline

img{ vertical-align : baseline;}

good design

middle

img{ vertical-align : middle;}

プロパティ	内容	デフォルト値	許容範囲
width	Viewportの横幅	980px	200~10,000px
height	Viewportの縦幅	横幅とアスペクト比から計算される値	200~10,000px
initial-scale	倍率の初期値	表示範囲から計算される値	minimum-scale~maximum-scale
minimum-scale	倍率の最小値	0.25	0~10
maximum-scale	倍率の最大値	1.6	0~10
user-scalable	拡大縮小の可否	yes	-

media="screen" / パソコン用

media="print" / プリント用

CSS の記述

img {max-width: 100%;}

Fluid Image

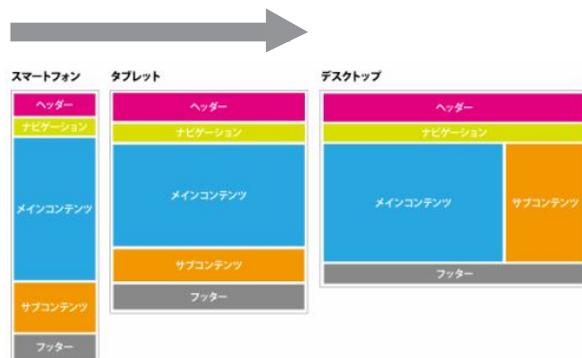
フルードイメージ
画像サイズをスクリーンサイズに応じて変化させる手法。
HTML 内の img 要素には、width 属性、height 属性は指定しない。

モバイルファーストの考え方

小さなスクリーンから記述していく。

小さいサイズから順々に指定「モバイルファースト」

大きいサイズから指定「デスクトップファースト」



フルードグリッドの計算式

px 値を % へ変換

【計算式】

(変換したい値) ÷ (変換したい値の親要素の幅) × 100

【例】

#main (620px)
#contents (960px) ← #main の親要素
#main の margin (10px) の場合

#main (620px) の横幅を%に変換すると、
 $620\text{px} \div 960\text{px} \times 100 = 64.5833333333\%$
となります。

また、#main の margin (10px) の値を%に変換すると、
 $10\text{px} \div 960\text{px} \times 100 = 1.041666667\%$
となります。